

なかよし班活動

本校では、以下の考え方に基ついて、なかよし班活動を行っています。

本校が行っているなかよし班活動は、学校教育目標「国際的視野を持ち、未来を切り拓くグローバルキャリア人としての基本的な資質の育成」のうち、特に、[尊重]「国際的な視野と広い心を持ち、互いを尊重し合う子ども」、[創造]「豊かな感性と探究的な思考力を働かせて、文化を創造していく子ども」を育てるための本校独自の取組です。年間を通して、なかよし班清掃を中心としながら、出会いの会・1年生を迎える会、なかよし班遠足、スポーツデー、ありがとうの会を行います。その中で、異学年との交流を通して、「前例、他者等に依存せず、自分の置かれた状況において、工夫してよりよいものを作り出そうとする力や態度」や、「他者と質の高い合意形成をする力や態度」を子ども達に育んでいきます。

本校のなかよし班活動の特徴は、学校経営方針、学習指導要領に示されている特別活動の目標をもとに作成した「A 1年生から6年生の仲間と、よりよく関わる」「B 課題を見つけ、解決する」「C 自分の役割を考える」の三つのキーワードを教師も児童も意識して取り組むところにあります。

ここに示しているのは、1年生を迎える会の写真です。この1年生が自己紹介を行う場面からは、AとCのキーワードにかかわる児童の姿を見ることができます。まず目につくのは、1年生に寄り添い、声をかける班長の姿です。この姿から、班長として、1年生が安心できるようにサポートするという役割を考え、行動していること、つまりがCのキーワードを意識できていることがわかります。また、班長の周囲に目を向けると、自己紹介をしようとする1年生の方を見て、進んで話を聞こうとする上級生の姿が見られます。この姿から、仲間とよりよくかかわろうとするAのキーワードを意識できていることがわかります。これは、活動の一場面ですが、なかよし班活動を行う際は、いつもこの三つのキーワードを意識し、活動に見通しをもったり、ふりかえりを行ったりするようにしています。



なかよし班活動を充実させるための運営上の工夫として、次の二点を行っています。

一点目が「ペア班」の設定です。なかよし班は、本校の学級数と同じ12班で構成されています。このうち、1班と2班、3班と4班というように、ペアとなる班を設定し、二つの班に教員が3名程度つくようにしています。このことにより、学年担任制のように児童とかかわることができるので、ペア班の教員同士が連携しながら児童の成長を支援することが可能になります。

二点目が「小グループ」の設定です。なかよし班は、各班33人、または34人で構成されています。その中で、5、6人で構成した小グループをつくり、上級生を中心としたリーダーと副リーダーを決め、役割をもたせるようにしています。リーダーと副リーダーは、小グループでの話し合い活動をまとめていくことはもちろんですが、日々のなかよし班清掃の中でも、担当箇所がきれいになっているかどうか、チェックをする役割を担っています。このように、小グループを機能させることで、班長、副班長だけでなく、一人ひとりが責任をもって班活動に取り組めるようにしています。

本校に通う児童は、多様な地域から通学しています。本来、地域でのかかわりがあれば、自然と異年齢集団でかかわることもありますが、本校に通う児童は異年齢集団で活動する機会があまりもてません。その意味でも、なかよし班活動を充実させることで、多様な他者とかかわり方を学んだり、年上の姿を見てなりた自分を見つけたりすることができるようにしたいと考えています。

<7月の行事予定>

日	曜	7月の行事予定	8月の主な行事予定
1	月		26日(月) 12:00 下校
2	火		27日(火) 教育実習開始
3	水		12:00 下校
4	木		28日(水) 12:00 下校
5	金		29日(木) 12:00 下校
6	土		30日(金) 給食開始
7	日		
8	月		
9	火	宿泊学習説明会 (5年)	
10	水		
11	木		
12	金		
13	土		
14	日		
15	月	海の日	
16	火	給食終了	
17	水	12:00 下校	
18	木	12:00 下校	
19	金		
20	土		
21	日		
22	月		
23	火		
24	水		
25	木		
26	金		
27	土		
28	日		
29	月		
30	火		
31	水		